

配偶者等からの暴力に関する実態調査
(報告書)

平成 15 年 3 月

内閣府男女共同参画局

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査対象	1
4 調査時期	1
5 調査方法	1
6 調査実施委託機関	1
7 回収結果	2
8 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 未既婚	3
(4) 子どもの有無	4
(5) 職業	5
9 この報告書を読む際の注意	7
II 調査結果の概要	8
1 夫婦のあり方についての意識	8
(1) 「男性は外で働き、女性は家で家事・子育てをするものである」という考え方	8
(2) 「夫の言うことを素直に聞き入れる妻が、『よい妻』である」という考え方	10
(3) 「しつけや教育のために、夫が妻をたたくのは、やむを得ないことである」という考え方	12
2 配偶者等からの暴力についての意識	14
(1) 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(配偶者暴力防止法)の周知度	14
(2) 身近な人の中での配偶者暴力被害者の有無	16
(3) 相談窓口の周知	17
(4) 夫婦間暴力と認識される行為	21
(5) 公的機関等の関与の必要性についての意識	42
3 配偶者等への加害経験	51
(1) 配偶者や恋人の有無	51
(2) 配偶者等への加害経験	53
4 配偶者等からの被害経験	73
5 18歳になるまでの家庭における暴力の経験	96